

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-078639  
(43)Date of publication of application : 14.03.2003

(51)Int.Cl.

H04M 11/00  
G06F 13/00  
H04M 1/00  
H04M 1/21  
H04M 1/32  
H04G 7/38

(21)Application number : 2001-265731  
(22)Date of filing : 03.09.2001

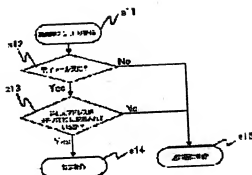
(71)Applicant : NEC ACCESS TECHNICA LTD  
(72)Inventor : AMANO HIROSHI

## (54) PORTABLE TELEPHONE SET

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a portable telephone set, with which receiving operation corresponding to a received electronic mail can be preset and convenience is improved without being troubled by incoming tones and vibration for reporting unwanted electronic mail.

**SOLUTION:** A transmitting source address contained in received mail data is extracted, and then, it is confirmed whether the extracted transmitting source address or one part of the transmitting source address is stored in the 'specified address' of a memory part 12 or not. When the extracted transmitting source address or one part of the transmitting source address is stored in the 'specified address' of the memory part 12, the operation (specified operation) of mail receiving based on 'specified operation contents' stored corresponding to the 'specified address' of the transmitting source address or one part of the transmitting source address is performed.



## LEGAL STATUS

08.08.2002

[Date of request for examination]  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	テーマコード (参考)
H04M 11/00	302	H04M 11/00 302	5C073
G06F 13/00	620	G06F 13/00 620	5C075
H04M 1/00		H04M 1/00	R 5K027
H04N 1/21		H04N 1/21	5K067
1/32		1/32	C 5K101

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(51) 出願番号 特願2001-265731 (P 2001-265731)

(22) 出願日 平成13年9月3日 (2001.9.3)

(71) 出願人 000197366

エヌイーシーアクセステクニカ株式会社

静岡県掛川市下俣800番地

(72) 発明者 天野 宏

静岡県掛川市下俣800番地 静岡日本電気

株式会社内

(74) 代理人 100097113

弁理士 堀 城之

F ターム (参考) 5C073 CD23

5C075 BB07 CD25

5K027 AA11 FF03

5K067 BB04 BB21 FF02 GG11 HH05

HH12 HH22 HH23

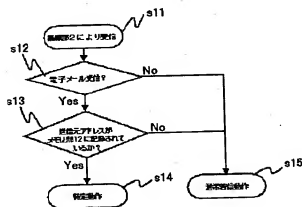
5K101 KK02 LL12 PP03 RR22

## (54) 【発明の名称】 携帯電話機

## (57) 【要約】

【課題】 本発明は、受信した電子メールに応じた受信動作を予め設定でき、不必要な電子メールの受信を知らせる着信音および振動に煩わされることなく、使い勝手の良い携帯電話機を提供することを課題とする。

【解決手段】 受信したメールデータに含まれている送信元アドレスを抽出し、抽出した送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部がメモリ部12の「特定アドレス」に記憶されている否かを確認し、抽出した送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部がメモリ部12の「特定アドレス」に記憶されている場合には、送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部である「特定アドレス」に対応して記憶されている「特定動作内容」に基づいたメール受信処理の動作（特定動作）を行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 送信元アドレスと表題とメッセージとを含む電子メールを受信することができる携帯電話機であつて、

前記電子メールのメール受信処理動作を示す特定動作内容を記憶する特定動作内容記憶手段と、

受信された前記電子メールに応じて前記特定動作内容記憶手段に記憶されている前記特定動作内容により前記メール受信処理動作を行うか否かを制御するメール受信制御手段とを具備することを特徴とする携帯電話機。

【請求項2】 前記特定動作内容記憶手段は、前記特定動作内容と対応させて前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶させ、

前記メール受信制御手段は、受信された前記電子メールの前記送信元アドレスが前記特定動作内容記憶手段に記憶されている場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行わせることを特徴とする請求項1記載の携帯電話機。

【請求項3】 前記特定動作内容記憶手段は、前記特定動作内容と対応させてキーワードを記憶させ、前記メール受信制御手段は、受信された前記電子メールを前記キーワードで検索して、前記電子メールに前記キーワードが存在する場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行わせることを特徴とする請求項1又は2記載の携帯電話機。

【請求項4】 前記特定動作内容記憶手段は、前記キーワードと対応させて表題フラグを記憶させ、前記メール受信制御手段は、前記表題のみの前記キーワードによる検索、前記メッセージのみの前記キーワードによる検索もしくは前記表題および前記メッセージの両方の前記キーワードによる検索のいずれかを前記表題フラグに応じて選択させることを特徴とする請求項3記載の携帯電話機。

【請求項5】 送信元アドレスと表題とメッセージとを含む電子メールを受信することができる携帯電話機において、メール受信方法であつて、

前記電子メールのメール受信処理動作を示す特定動作内容を記憶し、

受信した前記電子メールに応じて前記記憶した前記特定動作内容により前記メール受信処理動作を行うか否かを制御することを特徴とする携帯電話機におけるメール受信方法。

【請求項6】 前記特定動作内容に対応する前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶し、受信した前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶している場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行うことを特徴とする請求項5記載の携帯電話機におけるメール受信方法。

【請求項7】 前記特定動作内容に対応するキーワードを記憶し、

受信した前記電子メールを前記キーワードで検索し、受信した前記電子メールに前記キーワードが存在する場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行うことを特徴とする請求項5又は6記載の携帯電話機におけるメール受信方法。

【請求項8】 前記キーワードに対応する表題フラグを記憶し、

前記表題のみの前記キーワードによる検索、前記メッセージのみの前記キーワードによる検索もしくは前記表題および前記メッセージの両方の前記キーワードによる検索のいずれかを前記表題フラグに応じて選択することを特徴とする請求項7記載の携帯電話機におけるメール受信方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話機に関する、特に電子メールを送受信できるメール機能を有する携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、電子メールを利用することができる携帯電話機が急速に普及しており、携帯電話機で電子メールを受信することが一般的になっている。電子メールは、通常の音声による通話と違い、文字として情報を受信できるため、忙しくて電話に出ることができない状態でも、携帯電話機が自動的にメールを受信してくれ、使用者は、好きな時間に受信した電子メールの内容を確認できる。

【0003】しかし、電子メールの基本的な性質上、即時性がないため、いつ電子メールが着信するか分からず、例えば、就寝中に電子メールを受信した場合には、受信したことを知らせる着信音および振動により報知されて眠りを妨げられることもあり、また、電子メールの同報性を利用した広告メール業者による広告メールの受信時の着信音および振動により不快な思いをすることがある。

【0004】そこで、従来の電子メール機能が付いた携帯電話機では、電子メールを受信した際に、受信を知らせる着信音および振動を発生させないサイレントモードを設定することができるように構成されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来技術では、特定の人（メールアドレス）からの電子メールだけを待っている際に、サイレントモードを「OFF」にして着信音および振動を「ON」にした場合には、広告（迷惑）メールを含む全ての電子メールの受信が報知されるため、 unnecessary 電子メールの受信を知らせる着信音および振動に煩わされ、サイレントモードを「ON」にした場合には、使用者が注意して電子メールの受信状態を確認しなければならないため、使い勝手が悪いという問題点があった。

【0006】本発明はかかる問題点を鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、受信した電子メールに応じた受信動作を予め設定でき、不必要な電子メールの受信を知らせる着信音および振動に煩わされることなく、使い勝手の良い携帯電話を提供する点にある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上記課題を解決すべく、以下に掲げる構成とした。請求項1記載の発明の要旨は、送信元アドレスと表題とメッセージを含む電子メールを受信することができる携帯電話機であつて、前記電子メールのメール受信処理動作を示す特定動作内容を記憶する特定動作内容記憶手段と、受信された前記電子メールに応じて前記特定動作内容記憶手段に記憶されている前記特定動作内容により前記メール受信処理動作を行うか否かを制御するメール受信制御手段とを具備することを特徴とする携帯電話機に存する。また請求項2記載の発明の要旨は、前記特定動作内容記憶手段は、前記特定動作内容と対応させて前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶させ、前記メール受信制御手段は、受信された前記電子メールの前記送信元アドレスが前記特定動作内容記憶手段に記憶されている場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行わせることを特徴とする請求項1記載の携帯電話機に存する。また請求項3記載の発明の要旨は、前記特定動作内容記憶手段は、前記特定動作内容と対応させてキーワードを記憶させ、前記メール受信制御手段は、受信された前記電子メールを前記キーワードで検索して、前記電子メールに前記キーワードが存在する場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行わせることを特徴とする請求項1又は2記載の携帯電話機に存する。また請求項4記載の発明の要旨は、前記特定動作内容記憶手段は、前記キーワードと対応させて表題フラグを記憶させ、前記メール受信制御手段は、前記表題のみの前記キーワードによる検索、前記メッセージのみの前記キーワードによる検索もしくは前記表題および前記メッセージの両方の前記キーワードによる検索のいずれかを前記表題フラグに応じて選択させることを特徴とする請求項3記載の携帯電話機に存する。また請求項5記載の発明の要旨は、送信元アドレスと表題とメッセージを含む電子メールを受信することができる携帯電話機におけるメール受信方法であつて、前記電子メールのメール受信処理動作を示す特定動作内容を記憶し、受信した前記電子メールに応じて前記記憶した前記特定動作内容により前記メール受信処理動作を行うか否かを制御することを特徴とする携帯電話機におけるメール受信方法に存する。また請求項6記載の発明の要旨は、前記特定動作内容に対応する前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶し、受信した前記電子メールの前記送信元アドレスを記憶している場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行うことを特徴とする請求項5記載の

携帯電話機におけるメール受信方法に存する。また請求項7記載の発明の要旨は、前記特定動作内容に対応するキーワードを記憶し、受信した前記電子メールを前記キーワードで検索し、受信した前記電子メールに前記キーワードが存在する場合に、前記特定動作内容による前記メール受信処理動作を行うことを特徴とする請求項5又は6記載の携帯電話機におけるメール受信方法に存する。また請求項8記載の発明の要旨は、前記キーワードに対応する表題フラグを記憶し、前記表題のみの前記キーワードによる検索、前記メッセージのみの前記キーワードによる検索もしくは前記表題および前記メッセージの両方の前記キーワードによる検索のいずれかを前記表題フラグに応じて選択することを特徴とする請求項7記載の携帯電話機におけるメール受信方法に存する。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基いて詳細に説明する。

【0009】（第1の実施の形態）図1は、本発明に係る携帯電話機の実施の形態の構成を示すブロック図であり、図2は、第1の実施の形態における図1に示すメモリ部の記憶内容を示す図である。

【0010】第1の実施の形態の携帯電話機は、アンテナ部1と、アンテナ部1を介して基地局との間で無線通信を行い、音声データ、メールデータ（電子メール）等からなる無線データを送受信する無線部2と、使用者の音声拾うマイク3と、音声出力するスピーカ4と、無線部2からの音声データを音声信号に変換すると共に、マイク3からの音声信号を音声データに変換する音声処理部5と、制御部6と、プザー7およびVIBモータ（振動モータ）8と、プザー7およびVIBモータ8を駆動する報知部9と、呼出先の電話番号や文字を入力するためのテンキーと動作モードを切り換える各種機能キーとからなるキー操作入力部10と、他の電話機から送信されてきた電子メールの内容、操作案内、動作状況等を表示する表示部11と、メモリ部12と、メモリ部12のデータの読み書きを制御するデータ管理部13とから構成される。

【0011】制御部6は、無線部2、音声処理部5、報知部9、キー操作入力部10、表示部11およびデータ管理部13を制御するマイクロコンピュータであり、他の電話機を呼び出すための発呼信号を無線部2から送信させる発呼処理、呼出信号が送信されてきた時にプザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させて着信を知らせる受信処理、発呼処理および受信処理に引き続いて電話回線網に接続させる接続処理、使用者がマイク3から入力した音声信号を音声データに変換して無線部2から基地局に送信すると共に基地局から受信した音声データを音声信号に変換してスピーカ4から音声として出力させる音声出力処理等の一般的な携帯電話機としての機能を実現するための各種制御処理を制

押する。

【0012】また、制御部6は、他の電話機へのメールデータを無線部2から送信させるメール送信処理、他の電話機からのメールデータを受信するメール受信処理を制御する。メール受信処理は、後述するメモリ部12の特定動作アドレスメモリ部122の記憶されている「特定アドレス」と「特定動作内容」とに基づいて行われる。

【0013】メモリ部12は、図2に示すように、電話番号メモリ部121と、特定動作アドレスメモリ部122 10、着信したメールデータを記憶する図示しないメールデータ記憶部とからなり、電話番号メモリ部121には、1レコードあたり「短縮No.」、「電話番号」、「氏名」等で構成されている短縮電話番号情報が記憶され、特定動作アドレスメモリ部122には、特定動作の対象となる「特定アドレス」と「特定動作内容」とが記憶される。

【0014】メモリ部12の電話番号メモリ部121および特定動作アドレスメモリ部122への登録は、キー操作入力部10からの入力により行うことができ、また、メモリ部12の電話番号メモリ部121、特定動作アドレスメモリ部122およびメールデータ記憶部に記憶されている内容は、キー操作入力部10からの指示により表示部11に表示させることができる。

【0015】特定動作アドレスメモリ部122に記憶されている「特定アドレス」は、相手先のメールアドレス（送信元アドレス）の全てでも一部でも良い。また、「特定動作内容」は、メールを受信した際のメール受信処理の動作を指示するもので、予め指定されているものの中から選択するようにしても、ユーザーが任意に作成したプログラム（ソフトウェア）を実行するようにしても良い。

【0016】次に、第1の実施の形態の動作について図3を参照して詳細に説明する。図3は、本発明に係る携帯電話機の第1の実施の形態のメール受信処理の動作を説明するためのフローチャートである。

【0017】無線部2により基地局から無線データを受信すると（s11）、制御部6は、受信した無線データが通常通話のための呼出信号なのかメールデータ（電子メール）なのかを判断し（s12）、受信した無線データが音声通話要求のための呼出信号である場合には、通常着信動作を行う（s15）。なお、この場合の通常着信動作とは、ブザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させて音声通話要求の着信を知らせる受信処理のことであり、使用者がキー操作入力部10からの入力により着信音の有無、振動の有無を設定することができる。

【0018】受信した無線データがメールデータである場合には、受信したメールデータに含まれている送信元アドレスを抽出し、抽出した送信元アドレスもしくは送

信元アドレスの一部がメモリ部12の特定動作アドレスメモリ部122の「特定アドレス」に記憶されている否かを確認する（s13）。

【0019】抽出した送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部がメモリ部12の特定動作アドレスメモリ部122の「特定アドレス」に記憶されている場合には、通常着信動作を行う（s15）。なお、この場合の通常着信動作とは、ブザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させて電子メールの受信を知らせるメール受信処理のことであり、使用者がキー操作入力部10からの入力により着信音の有無、振動の有無を設定することができる。

【0020】抽出した送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部がメモリ部12の特定動作アドレスメモリ部122の「特定アドレス」に記憶されている場合には、送信元アドレスもしくは送信元アドレスの一部である「特定アドレス」に対応して記憶されている「特定動作内容」に基づいたメール受信処理の動作（特定動作）を行う（s14）。

【0021】なお、「特定動作内容」としては、ブザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させないサイレントモードの指示、受信したメールデータを削除する指示、受信したメールデータにプロテクトをかけてメモリ部12のメールデータ記憶部に記憶させる指示、受信したメールデータを優先度を最も低くしてメモリ部12のメールデータ記憶部に記憶させる指示等のメール受信処理の動作が考えられ、これらの「特定動作内容」を予め用意し、使用者に選択できるようにすると好適である。なお、メールデータ記憶部に記憶させる際の優先度とは、メールデータ記憶部がいっぱいになった際の消去順を表すもので、優先度の低いもの、例えば受信日時が古いものから消去される。

【0022】以上説明したように、第1の実施の形態によれば、受信した電子メールの送信元アドレスに応じてメール受信処理の動作を設定できるように構成したため、受信した電子メールに応じた受信動作を予め設定でき、不必要な電子メールの受信を知らせる着信音および振動に煩わされることないという効果を奏する。

【0023】さらに、第1の実施の形態によれば、夜間に特定の送信元アドレスからの電子メールの着信を待つ場合に、特定の送信元アドレスに対応する「特定動作内容」としてブザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させる指示を記憶させ、通常着信動作としてブザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させないサイレントモードを指示しておけば、待つている電子メールを受信した時のみに着信音および振動が発生するため、不必要な電子メールの受信による着信音および振動に煩わされることなく、待つている電子メールの着信を確実に判別でき、使い勝手が良いという効果を奏する。

【0024】さらに、第1の実施形態によれば、広告(迷惑)メールに対しては、業者が使っているメールアドレス(業者の送信元アドレス)を特定できれば、業者の送信元アドレスに対応する「特定動作内容」としてサイレントモードとメールデータを削除する指示とを記憶させておけば、広告(迷惑)メールの受信と同時に受信したメールデータを削除することができるため、 unnecessaryな電子メールの受信による着信音もしくは振動に煩わされることなく、また、 unnecessaryな電子メールによってメールデータ記憶部が圧迫されず、記憶されている他の電子メールが削除される可能性を格段に減らすことができるという効果を奏する。

【0025】(第2の実施形態)図4は、第2の実施形態における図1に示すメモリ部の記憶内容を示す図であり、図5は、本発明に係る携帯電話機の第2の実施形態のメール受信処理の動作を説明するためのフローチャートである。

【0026】第2の実施形態の基本的な構成は、第1の実施形態と同様であるが、メモリ部12の内部構成が異なっている。すなわち、第2の実施形態のメモリ部12は、図4に示すように、電話番号メモリ部121と、特定動作キーワードメモリ部123と、図示しないメールデータ記憶部とからなり、電話番号メモリ部121には、1レコードあたり「短縮No.」、「電話番号」、「氏名」等で構成されている短縮電話番号情報が記憶され、特定動作キーワードメモリ部123には、特定動作の対象となる「表題flag」、「キーワード」および「特定動作内容」が記憶される。

【0027】無線部2により基地局から無線データを受信すると(ステップ21)、制御部6は、受信した無線データが通常通話のための呼出信号なのかメールデータ(電子メール)なのかを判断し(ステップ22)、受信した無線データが音声通話要求のための呼出信号である場合には、通常着信動作を行う(ステップ26)。なお、この場合の通常着信動作とは、プザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させて音声通話要求の着信を知らせるおよび振動のことであり、使用者がキー操作入力部10からの入力により着信音の有無、振動の有無を設定することができるとなる。

【0028】受信した無線データがメールデータである場合には、メモリ部12の特定動作キーワードメモリ部123から「表題flag」と「キーワード」とを読み込み(ステップ23)、受信したメールデータに特定動作キーワードメモリ部123に記憶された「キーワード」が存在するか否かを検索する(ステップ24)。「表題flag」が"2"の場合は、メールデータの表題にキーワードが存在するか否かを検索し、「表題flag」が"1"の場合は、メッセージ(電子メールの本文)にキーワードが存在するか否かを検索し、"0"の場合は、表題およびメッセージにキーワードが存在するか否かを検索す

る。

【0029】受信したメールデータに特定動作キーワードメモリ部123に記憶された「キーワード」が存在しない場合には、通常着信動作を行う(ステップ26)。なお、この場合の通常着信動作とは、プザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させて電子メールの受信を知らせるメール受信処理のことであり、使用者がキー操作入力部10からの入力により着信音の有無、振動の有無を設定することができる。

【0030】受信したメールデータに特定動作キーワードメモリ部123に記憶された「キーワード」が存在する場合には、存在した「キーワード」に対応して記憶されている「特定動作内容」に基づいたメール受信処理の動作(特定動作)を行う(ステップ25)。

【0031】以上説明したように、第2の実施形態によれば、受信した電子メールの表題およびメッセージに応じてメール受信処理の動作を設定できるように構成したため、送信元アドレスに応じて受信動作を設定でき、必要な電子メールの着信による着信音もしくは振動に煩わされることがないという効果を奏する。

【0032】なお、本発明が上記各実施形態に限定されず、本発明の技術思想の範囲内において、各実施形態は適宜変更され得ることは明らかである。また、上記構成部材の数、位置、形状等は上記実施形態に限定されず、本発明を実施する上で好適な数、位置、形状等にすることができる。なお、各国において、同一構成要素には同一符号を付している。

【0033】

【発明の効果】本発明の携帯電話機は、受信した電子メールの送信元アドレスに応じてメール受信処理の動作を設定できるように構成したため、受信した電子メールに応じた受信動作を予め設定でき、 unnecessaryな電子メールの受信を知らせる着信音および振動に煩わされることがないという効果を奏する。

【0034】さらに、本発明の携帯電話機は、夜間に特定の送信元アドレスからの電子メールの着信を待つ場合に、特定の送信元アドレスに対応する「特定動作内容」としてプザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させる指示を記憶させ、通常着信動作としてプザー7およびVIBモータ8から着信音および振動を発生させないサイレントモードを指示しておけば、待っている電子メールを受信した時のみに着信音および振動が発生するため、 unnecessaryな電子メールの受信による着信音および振動に煩わされることがなく、待っている電子メールの着信を確実に判別でき、使い勝手が良いという効果を奏する。

【0035】さらに、本発明の携帯電話機は、広告(迷惑)メールに対しては、業者が使っているメールアドレス(業者の送信元アドレス)を特定できれば、業者の送信

元アドレスに対応する「特定動作」<sup>9</sup>としてサイレントモードとメールデータを削除する指示とを記憶させておけば、広告（迷惑）メールの受信と同時に受信したメールデータを削除することができるため、不必要な電子メールの受信による着信音もしくは振動に煩わされることなく、また、不必要な電子メールによってメールデータ記憶部が圧迫されず、記憶されている他の電子メールが削除される可能性を格段に減らすことができるという効果を奏する。

【0036】さらに、本発明の携帯電話機は、受信した電子メールの表題およびメッセージに応じてメール受信処理の動作を設定できるように構成したため、送信元アドレスが想定できない場合にも受信した電子メールの内容に応じて受信動作を設定でき、不必要な電子メールの着信による着信音もしくは振動に煩わされることがないという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯電話機の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】第1の実施の形態における図1に示すメモリ部の記憶内容を示す図である。

【図3】本発明に係る携帯電話機の第1の実施の形態のメール受信処理の動作を説明するためのフローチャート

である。

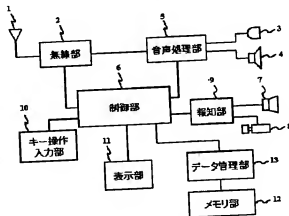
【図4】第2の実施の形態における図1に示すメモリ部の記憶内容を示す図である。

【図5】本発明に係る携帯電話機の第2の実施の形態のメール受信処理の動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

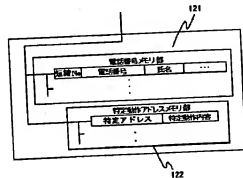
- 1 アンテナ部
- 2 無線部
- 3 マイク
- 4 スピーカ
- 5 音声処理部
- 6 制御部
- 7 ブザー
- 8 VIBモータ
- 9 報知部
- 10 キー操作入力部
- 11 表示部
- 12 メモリ部
- 121 電話番号メモリ部
- 122 特定動作アドレスメモリ部
- 123 特定動作キーワードメモリ部
- 13 データ管理部

【図1】

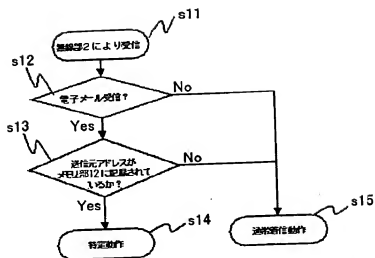


- 1 アンテナ部
- 2 無線部
- 3 マイク
- 4 スピーカ
- 7 ブザー
- 8 VIBモータ

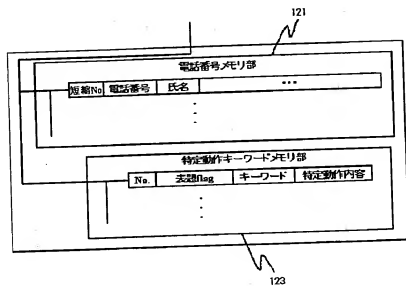
【図2】



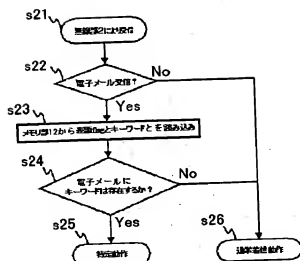
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>  
H04Q 7/38

識別記号

F I  
H04B 7/26

109 L

テーマコード (参考)